

農林漁業現地事例情報「農林水産分野におけるIT活用取組事例」

分類	① 生産管理等におけるIT化の取組					
取組名	田園地域マルチメディアモデル整備事業の農業に係わるサービス					
取組主体	西興部村 (北海道・西興部村)					
補助事業	1	田園地域マルチメディアモデル整備事業	年度	平成11～14年度	交付主体	国(農林水産省)
	2	田園地域マルチメディアモデル整備事業	年度	平成11～14年度	交付主体	北海道

取組の概要

IT導入の必要性、導入に至った経緯	<p>西興部村では、平成元年からCATV事業を行っていたが、9年に実施した「西興部村マルチメディア」に関するアンケートの結果、農業に関する情報提供の要望があったことから、設備の更新時期にあわせ高度情報化基盤の整備を行った。</p> <p>13年12月から試験運用を開始し、14年3月には本格運用が開始された。</p>
IT利用により期待される効果・目標	<p>IT基盤を活用することで、経験に頼る農業から脱却し、農業後継者の育成や新規参入の手助けとなり、新しい農業振興を図る。</p>
IT活用の概要	<p>西興部村(人口1,300人)全戸がネットワーク・光ファイバー網により、マルチメディア館IT夢(アトム)を介して様々なネットワーク利用が可能。</p> <p>農業振興に係るサービス</p> <p>(1)農業気象情報サービス 気象観測衛星のデータを活用し、地域限定の農業気象予報情報を提供する。</p> <p>(2)牛舎遠隔監視サービス 遠隔監視カメラにより、自宅から牛舎状況が確認できる。</p> <p>(3)家畜台帳データサービス 乳牛個体管理データ、乳検検査データ、乳検データ等を一元管理し、適切な個体管理を行う。</p> <p>(4)農業支援サービス 電算データを活用して適切な経営管理に資する。</p> <p>導入費用は、光ファイバー施設2億7千700万円、各サービスアプリケーション設備3億5千万円等、総額で13億7千100万円(農業以外のサービス設備費を含む。)</p>
IT利用者の範囲	生産者

取組の効果

①	効果のあった点	牛舎遠隔監視サービスにより、夜間の作業の効率化となる。
	効果の割合	導入直前との比較：10% (軽減)
②	効果のあった点	農業支援サービスの利用により、青色申告時の集計・書類整理時間の短縮。
	効果の割合	導入直前との比較：25% (軽減)

特記事項

<p>農家との協議により導入されたサービスなので、利用率が非常に高くなっている(2法人16農家)</p>
--

ITに関する課題と今後の展開

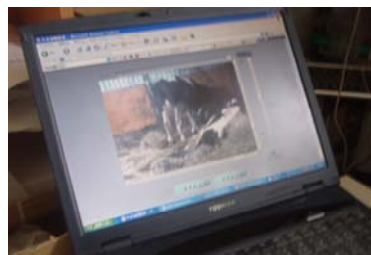
導入したシステムに関する課題・問題点	IT機器は技術進歩が早く、陳腐化も早い。 村独自で特注し導入したシステムが多いので、故障時に多くの費用と維持費がかかる。
ITに関する今後の取組・展開方向	ITの技術進歩が早いので、保守費用のあまりかからないシステムに更新していく。

利用者、(システム)構築業者の感想(声)

(利用者の声)	システム導入から6年経過し、ソフト・ハード面の改善が必要。
---------	-------------------------------



牛舎遠隔監視ロボット



牛舎から60m離れた自宅のパソコンで牛の様子が把握できる。

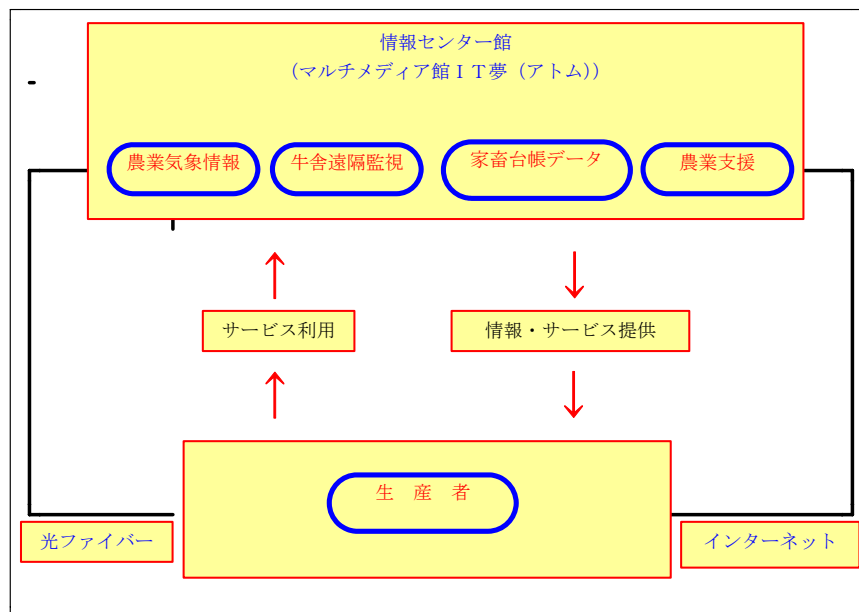


牛舎遠隔監視ロボット
ロボットは高さ1mほどの円筒形で、上部にズームも可能なレンズ、マイク、照明が取り付けられている。



マルチメディア館IT夢(アトム)

イメージ図



情報収集官署名：北海道農政事務所 遠軽統計・情報センター

連絡先：0158-42-2719